



CDI Editor Help

項目

画面説明

初期設定

データインポート

チームネーム編集

点火マップ設定

マップ作成

マップ編集

マップ透過表示

マップコピー

マップ保存

ファイルからマップを開く

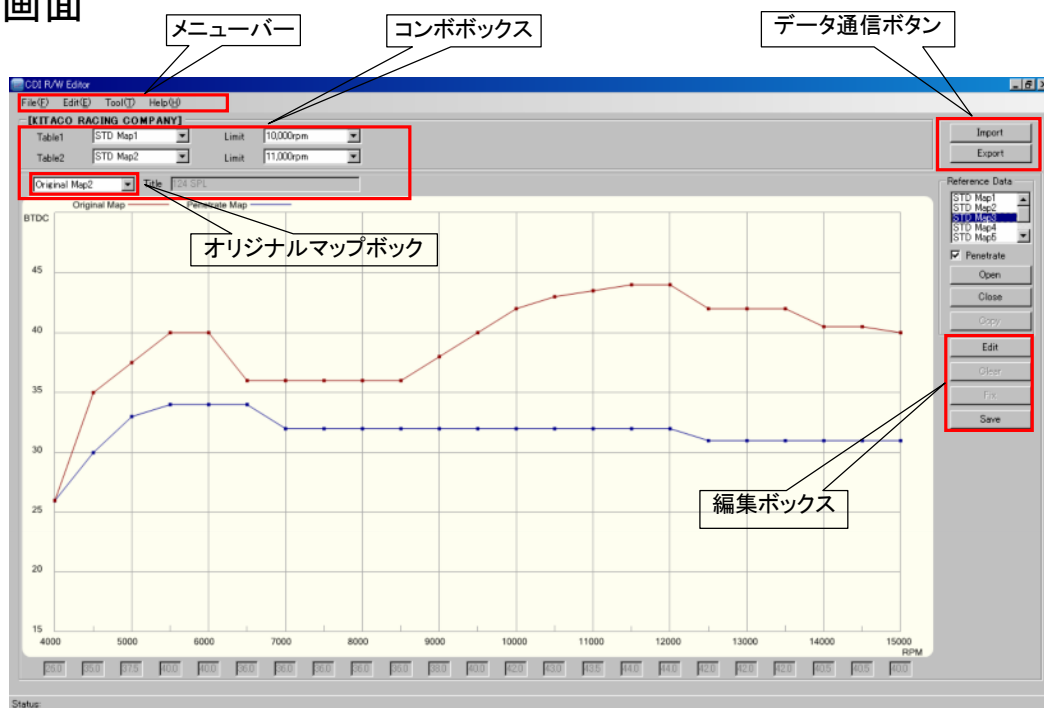
データエクスポート

印刷

終了

CDI Editor 画面(操作ボタンの説明)

標準画面



メニューバー

ファイル

インポート : パソコンに、CDIからデータを読み込みます。

エクスポート : パソコンから、CDIにデータを書き込みます。

プリント : 選択しているオリジナルマップの、グラフと数値データを印刷します。

エグジット : CDI Editorを終了します。

エディット

チームネーム : チームネームの編集を行います。(半角英数字30文字以下)

ツール

シリアルポート : CDIとパソコンをつなぐコムポートを選択します。(詳細はデバイスマネージャーで確認します。)

ヘルプ

ヘルプ : PDFファイル形式の操作マニュアルを表示します。

バージョン : CDI Editorのバージョン情報を表示します。

コンボボックス

テーブル : 実際にCDIから出力させる事の出来る、点火マップの、種類、レプリミットを2種類選択します。

テーブル1 : 車体ハーネス/テーブル切替えリード線非接続時

テーブル2 : 車体ハーネス/テーブル切替えリード線接続時

オリジナルマップボックス : ユーザーがマップを作成し、点火用のマップとして使用できるマップを3種類、記憶させておく事が出来ます。

タイトル : マップの名前です。パソコンにマップファイルとして保存する際にも使用します。(半角英数字15文字以下)

データ通信ボタン

インポート : CDIからデータを読み取ります。

エクスポート : CDIにデータを書き込みます。

編集ボックス

エディット : 編集画面に入ります。

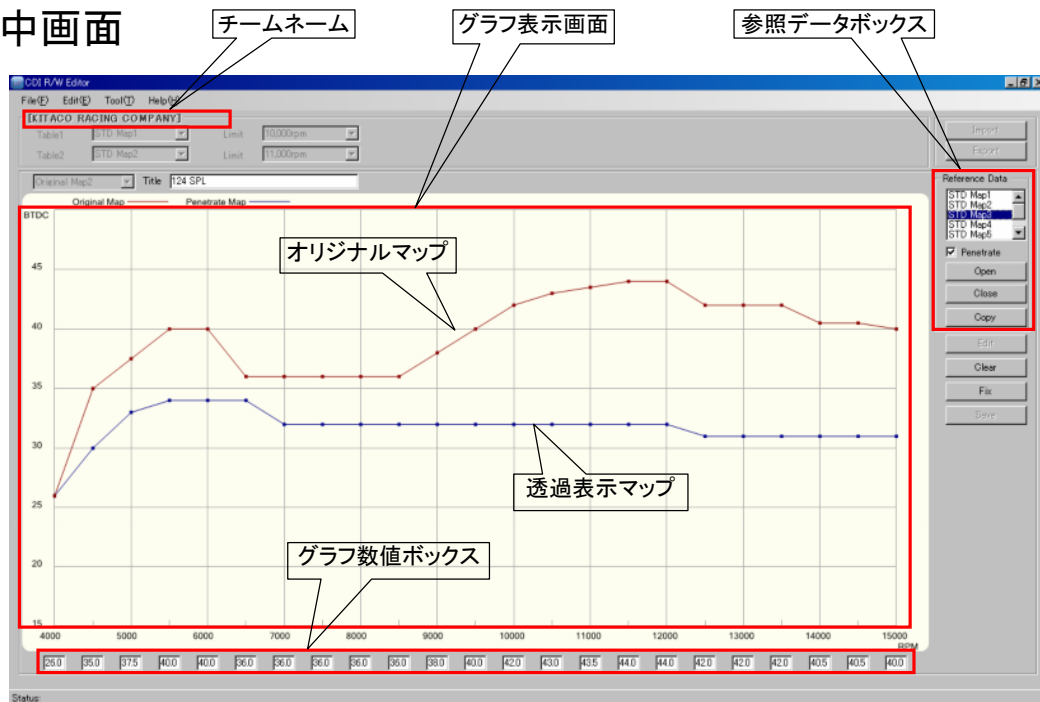
マップの編集作業を行います。(標準時のみ選択可)

フィックス : 編集作業を確定し標準画面に戻ります。(編集時のみ選択可)

クリアー : 編集中のマップデータを削除します。(編集時のみ選択可)

セーブ : オリジナルマップボックスで選択されているオリジナルマップを、パソコンにセーブファイルとして保存します。(標準時のみ選択可)

編集画面



チームネーム :ファイルメニューのエディット→チームネームで表示の編集が出来ます。
(半角英数字30文字以下)

参照データボックス
ペネトレイト :グラフ表示画面にSTDマップ(最初から入っている基準マップ)5種類と、データの有するオリジナルマップ(最大3マップ)と、パソコンのファイルに保存してあるセーブファイルを、透過表示マップとして表示することが出来ます。
オープン :ファイルに保存したセーブファイルを、参照データとしてボックスに表示します。
クローズ :選択されている参照データボックス内の、セーブファイルデータを参照ボックスから削除します。(STDマップ、オリジナルマップは削除できません。)
コピー :選択されている参照データボックス内の、マップデータをオリジナルマップにコピーします。(コピー先のオリジナルマップデータ、マップタイトルは、上書きされ、以前のデータはなくなります。)

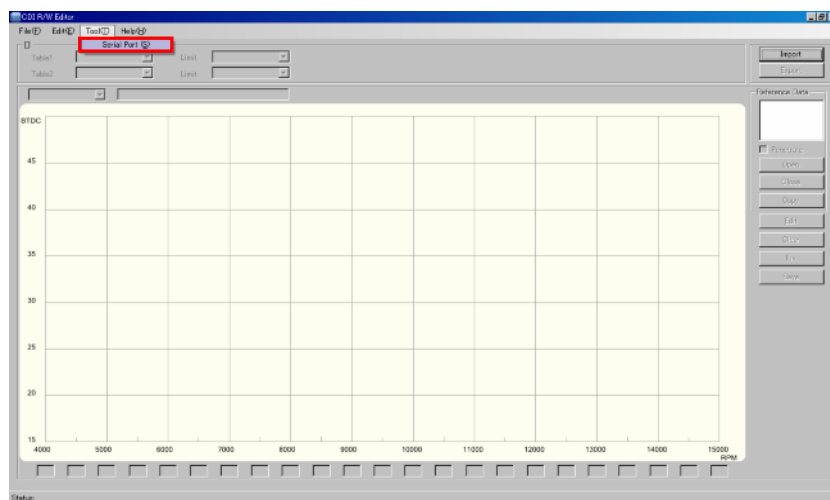
オリジナルマップ :コンボボックス内のオリジナルマップボックスで選択されているマップデータや、編集中のオリジナルマップをグラフ表示しています。

透過表示マップ :ペネトレイトにチェックが入っている時に、参照データボックスで選択されているマップのグラフ表示。

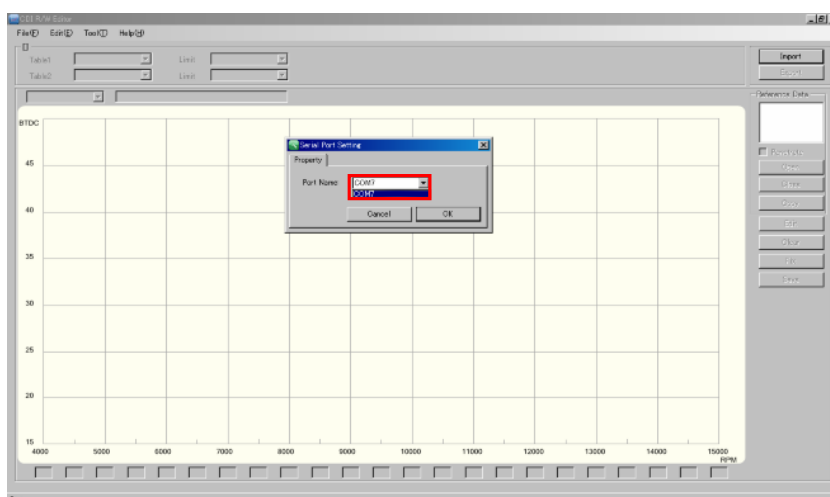
グラフ数値ボックス :コンボボックス内のオリジナルマップボックスで選択されているマップデータの数値データを表示。

初期設定(通信ポート設定)

- 1 CDIユニットとパソコンを専用ケーブルで接続し、CDI Editor(CDI エディター)を起動します。
メニューバーのTool(ツール)→Serial Port(シリアルポート)より使用するCOM PORT(コムポート)を選択します。
通信に必要なUSBポートがパソコンに無い場合等は、使用できません。



- 2 ポートを選択しOKを押します。

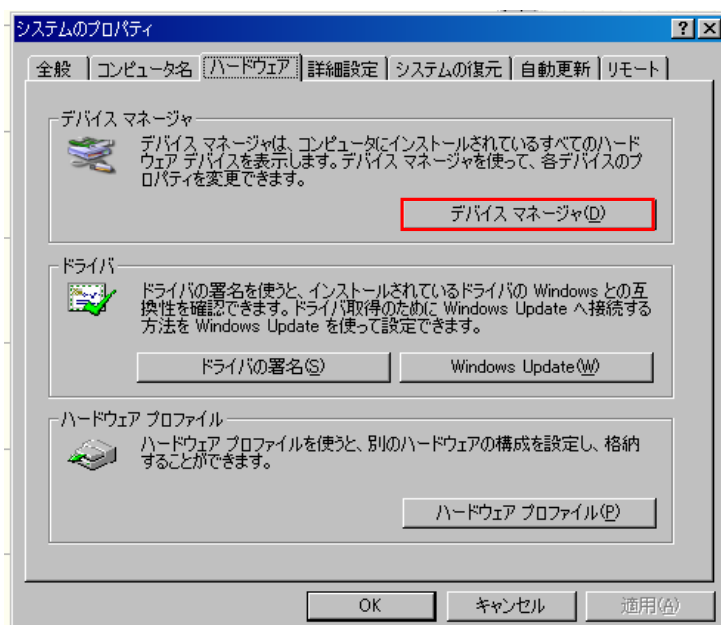


以上で、通信設定は終了です。
パソコンの環境が変化した場合には再設定が必要になる場合があります。
必要に応じ、再設定を行ってください。

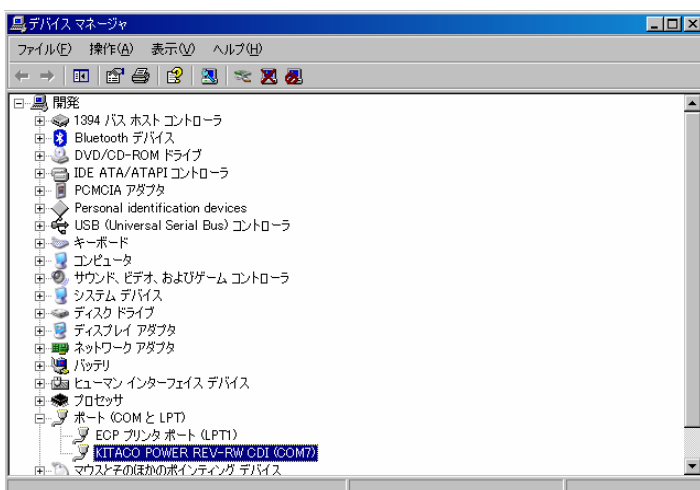
COM PORT(コムポート)の種類がたくさん有り、不明な場合は、
マイコン 컴퓨터→システムのプロパティ→ハードウェア→デバイスマネージャーポートで確認します。



マイコン 컴퓨터の
プロパティを開きハードウェア
を選択します。



デバイスマネージャーを選択。



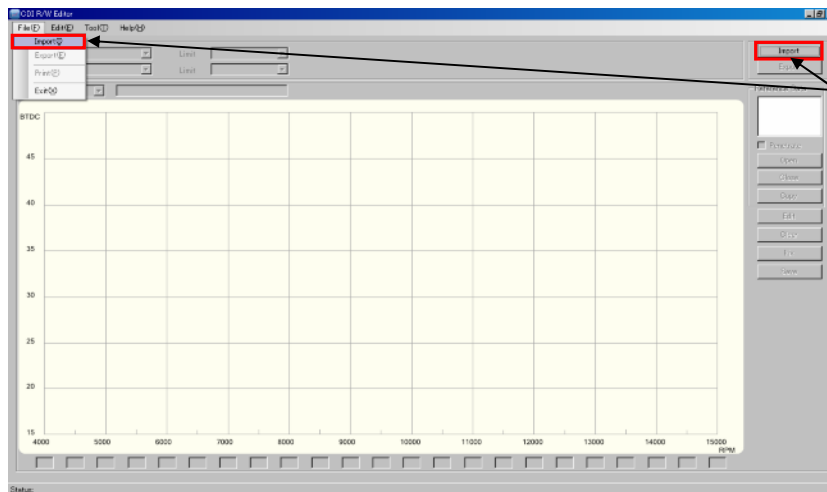
ポート部分に
KITACO POWER REV-RW CDI(COM7)
と表示されていますので、この場合設定
ポートはCOM7を選択します。
(パソコンの状況により異なります)

確認が出来れば、デバイスマネージャーの
ウィンドウを閉じます。

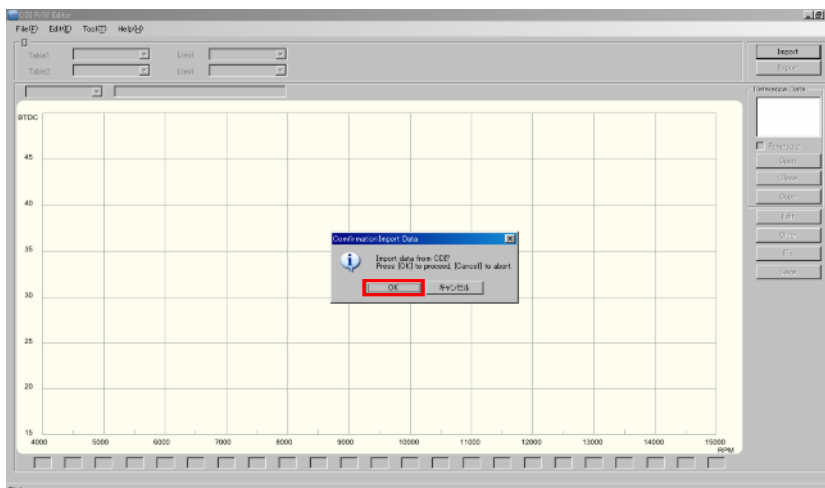
2のポート選択を行えば、設定完了です。

データインポート(CDIから点火データを引き出します)

- 1 メニューバーのFile(ファイル)→Import(インポート),又は画面右上のImport(インポート)ボタンより
CDIデータのインポートを行います。
(CDIデータのインポートを行わない場合、編集作業は行えません。)



どちらのインポートボタンでも
データのインポートが行えます。

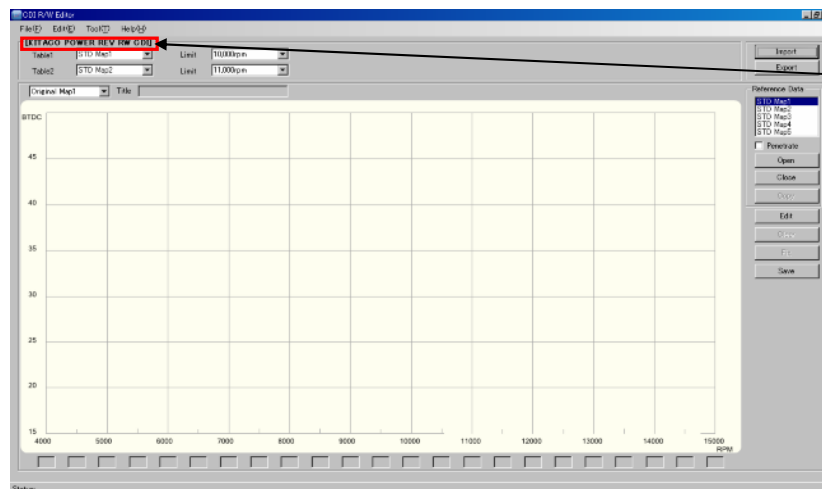


確認用メッセージが出るので
良ければ、OKを押します。

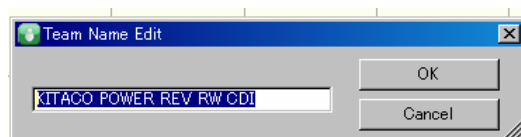
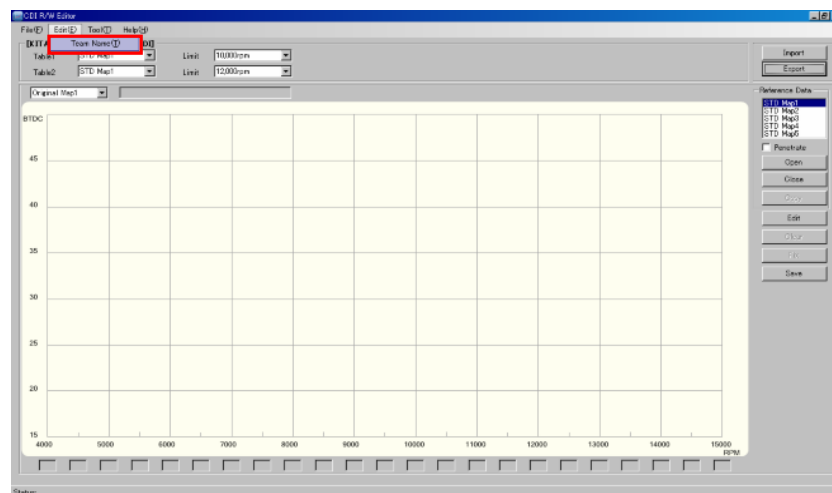
COMポートの設定や、ハードウェア(サポート対象外のパソコン)によっては通信エラーが発生します。
再度、ポート設定や通信ケーブルの断線等を確認してください。

チームネームの編集

1 メニューバーのEdit(エディット)→Team Name(チームネーム)よりチーム名の編集を行います。



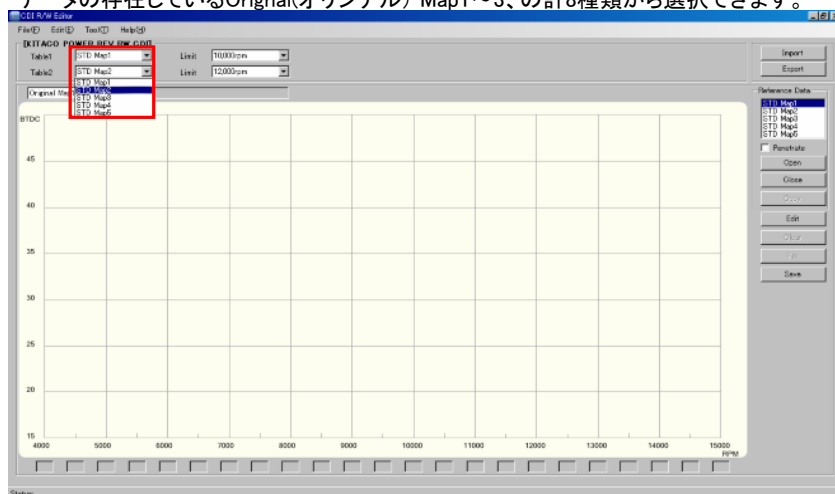
チームネーム
印刷した際にも表示します。



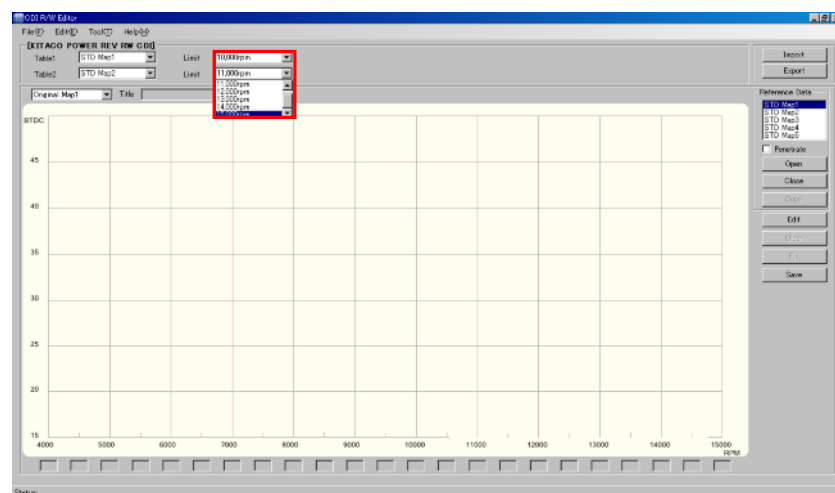
(半角英数字で最大30文字の入力が可能です。)

点火マップの設定(使用する2種類の点火マップ・リミッターを選択します)

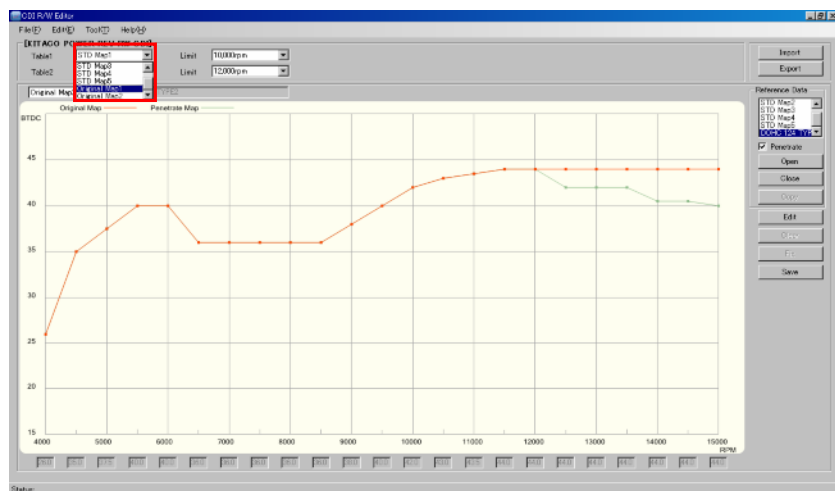
- 1 使用する点火マップを2種類選択します(テーブル1・テーブル2)
それぞれのテーブルボックスを押し選択してください。
点火マップの選択は、STD(スタンダード) Map1~5、
データの存在しているOriginal(オリジナル) Map1~3、の計8種類から選択できます。



- 2 回転リミッターも同様にリミッターボックスを押し選択します。
回転リミッターの選択は10000rpm~15000rpmの間で1000rpmづつ選択できます。

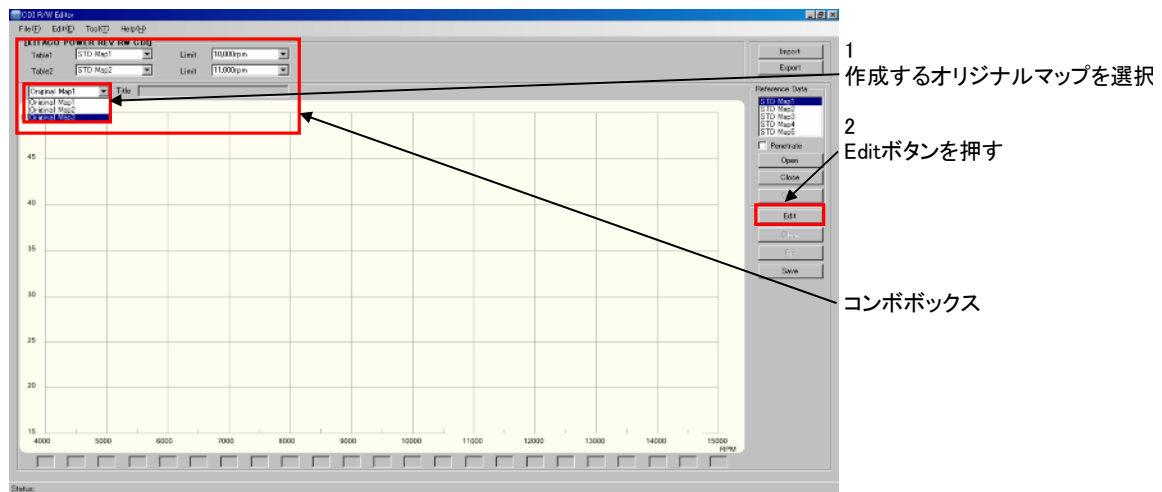


- 3 オリジナルマップにデータが存在する場合のみオリジナルマップの選択が可能です。

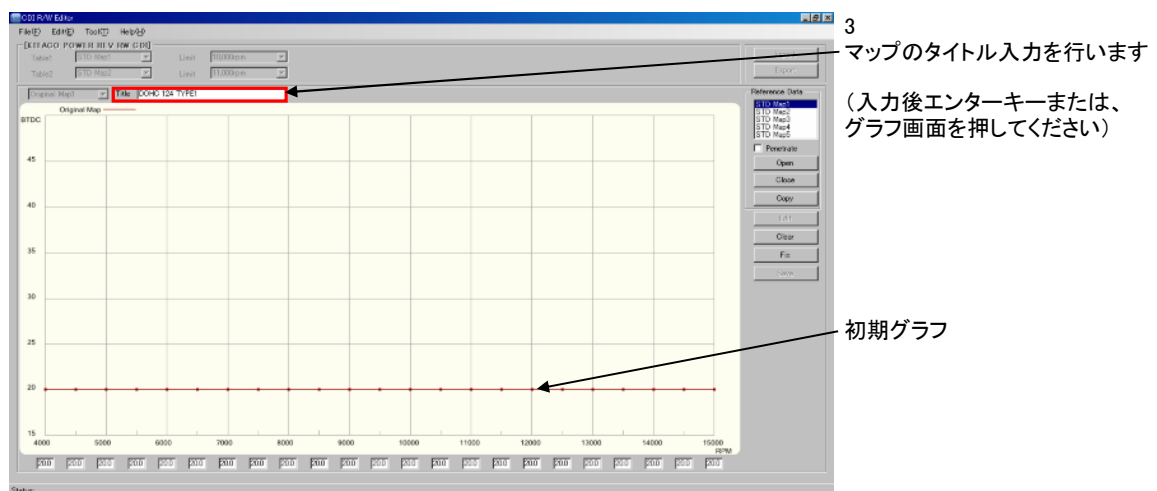


マップの作成

1 コンボボックスより作成、編集を行うオリジナルマップを選択し画面右のEdit(エディット)ボタンを押します。



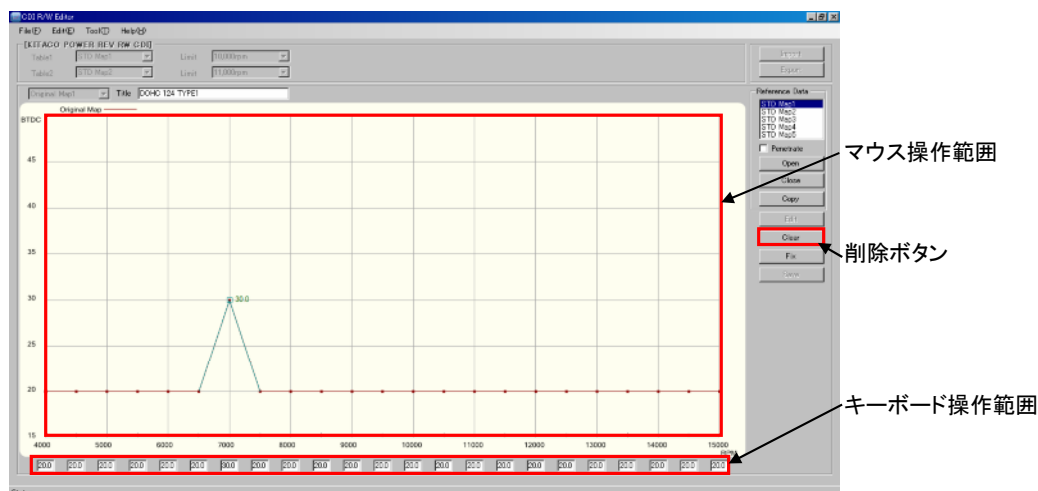
2 タイトルボックスにタイトルを入力します。(半角英数最大15文字)
(半角英数以外を入力した場合、正常なプログラムではないと認識され、データのエクスポートが出来ません)



(初期、及びデータを削除した際は、タイトルを入力すればマップが初期化され表示します。)

マップ編集

- 1 グラフの編集はマウスポインターでドラッグ & ドロップするか、キーボード入力で編集。
(入力単位は0.5度、Enter(エンター)キーで右の回転数に移動します)



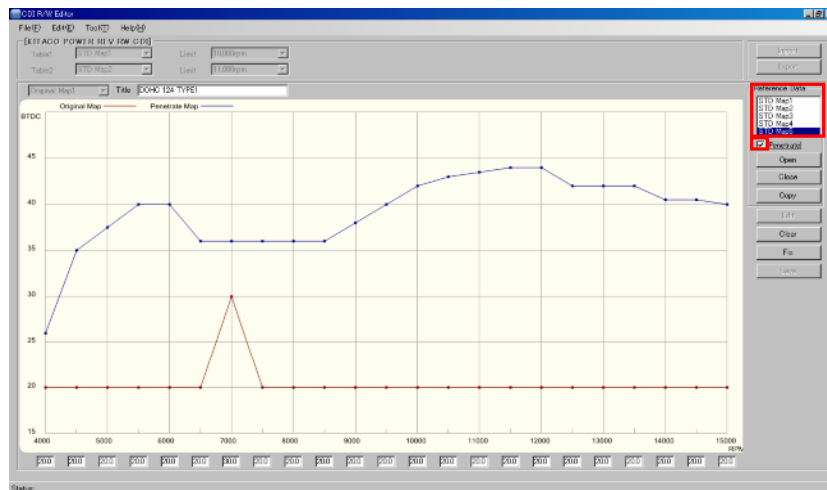
- 2 点火時期の入力値は、入力回転数前後で、±10度の範囲で編集可能です。
(車種により、点火時期設定最小値が異なりますのでそれぞれの車種別最小値をご確認ください。)
- 3 編集作業が終了したら、Fix(フィックス)ボタンを押します。

削除

- 1 マップの削除を行いたい場合はClear(クリア)ボタンを押します。
削除し、再度マップを編集する場合は、マップ作成のタイトル入力から始めてください。
(オリジナルマップがテーブルに選択されている場合は削除できません。一旦テーブルから選択を外し削除してください。)

透過表示

- 1 STD(スタンダード) Map 5種類とインポート時にデータを有するオリジナルマップが Reference Data(参照データ)ボックスに表示されます。
Penetrate(透過)にチェックを入れると参照しているマップのグラフを透過表示します。(表示は1種類のマップのみ)

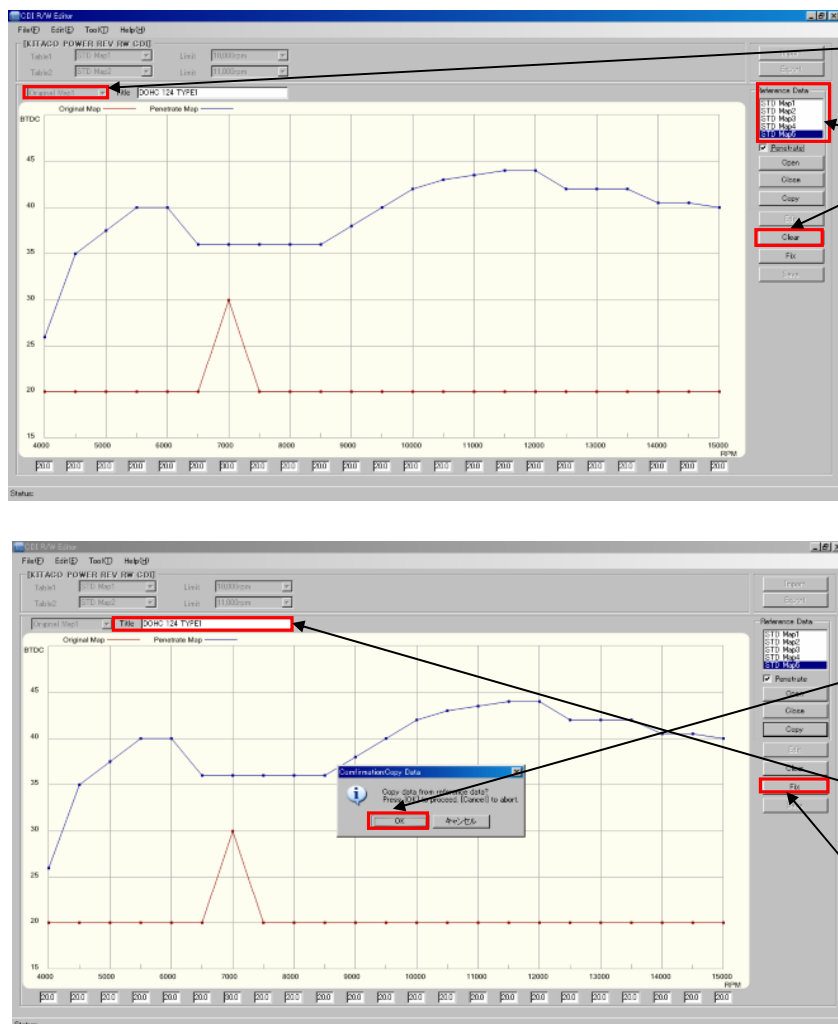


- 1 参照したいデータを押し
Penetrateにチェックを入れる

マップコピー

- 1 編集中にReference Data(参照データ)ボックスのデータを選択しCopy(コピー)ボタンによりグラフを編集中のオリジナルマップにコピーできます。

コピー前にタイトル入力を行っていない場合には、デフォルトのタイトルネームが表示されますので、必要に応じ編集してください。



1 編集するオリジナルマップを選択

2 参照データを選択する

3 Copyボタンを押す

4 コピーの確認メッセージが出ますのでOKを選択します

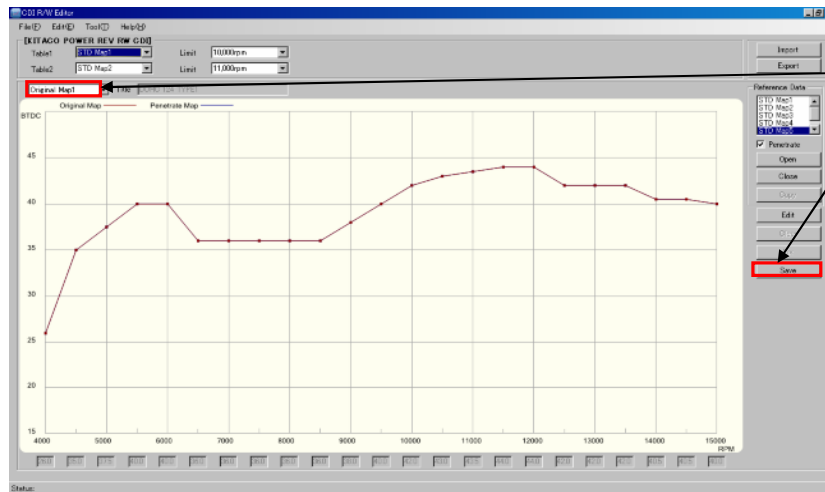
5 タイトルを編集する(初期未入力時)

6 Fixで編集モードの終了

- 2 よく似た点火マップを作成する場合には、参照データボックスにファイルデータを表示しコピー機能でマップをコピーし編集を行うと、スムーズにマップ作成・編集が行えます。(ファイルからマップを開くを参照)

マップの保存(ファイルに保存します)

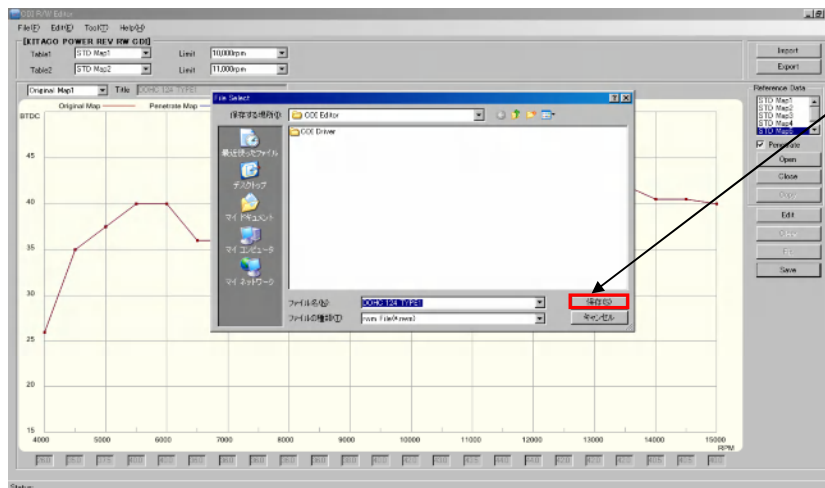
- 1 この時点では、コンボボックスの各オリジナルマップにのみ保存されています。
ファイルに保存したいオリジナルマップを選択しSaveを押します。



1 保存するオリジナルマップを選択する

2 Saveボタンを押す

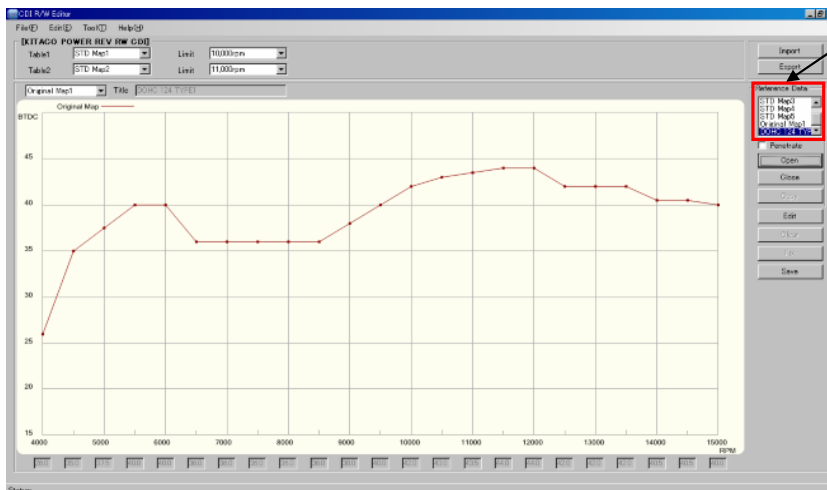
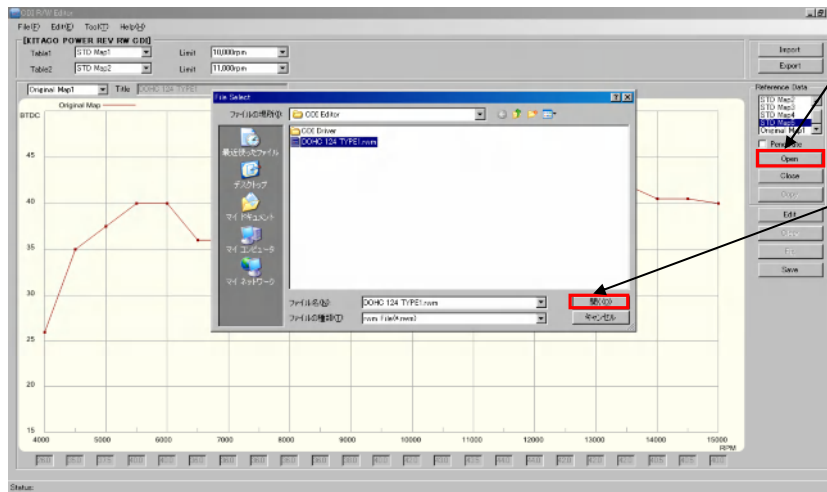
- 2 ファイルの保存先ダイアログが開くので保存を行います。(ファイル名はデフォルトでマップのタイトルが表示されます)
(保存ファイル形式 .rwm)



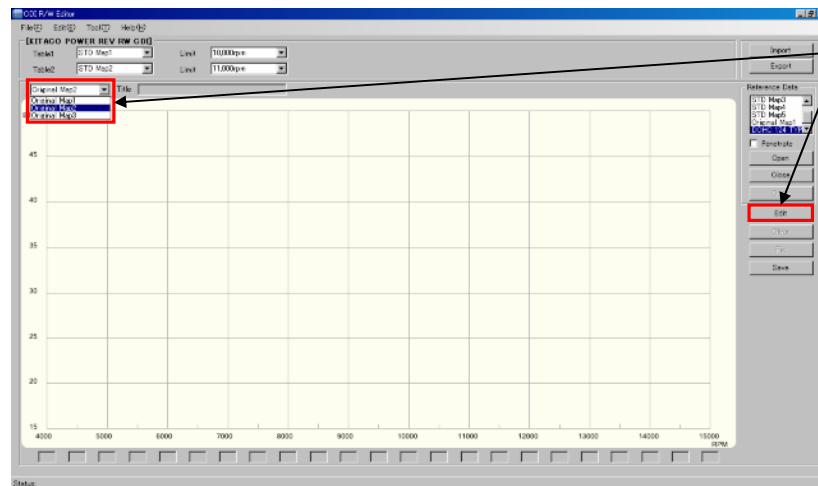
1 保存先とファイル名を確認し保存ボタンを押す

ファイルからマップを開く(参照データボックスに表示させる)

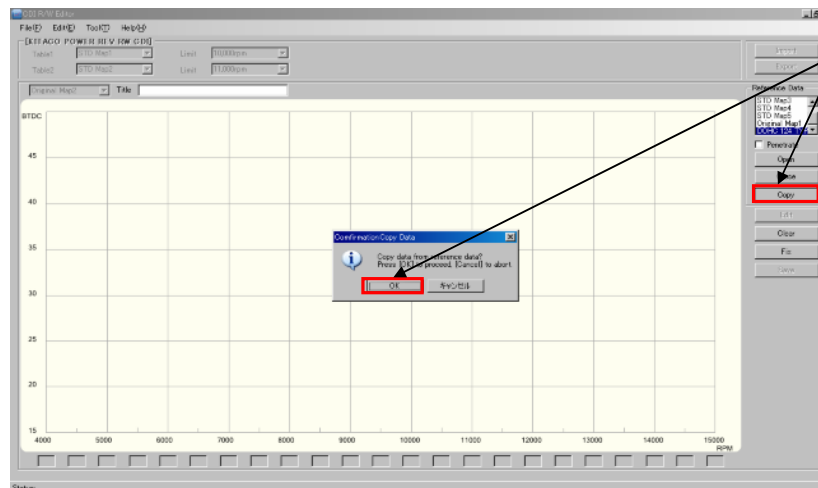
- 1 Open(オープン)ボタンで保存してあるオリジナルデータを、参照データとしてReference Data(参照データ)ボックスの最下部に表示することができます。



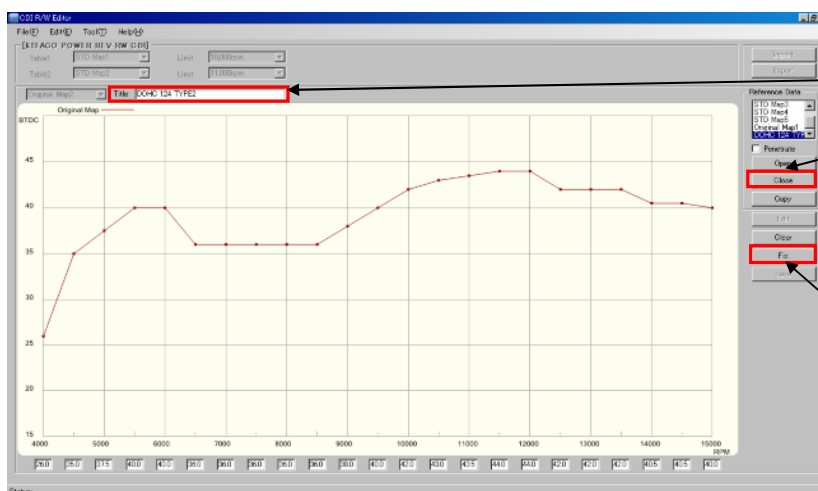
2 ファイルから、データを参照データボックスに表示し、コピーすればオリジナルマップデータとして使用することができます。



1 コピーするオリジナルマップを選択しEditボタンを押す



2 Copyボタンを押す
(コピーするオリジナルマップを確認しOKを選択する)



3 マップのタイトルを編集する

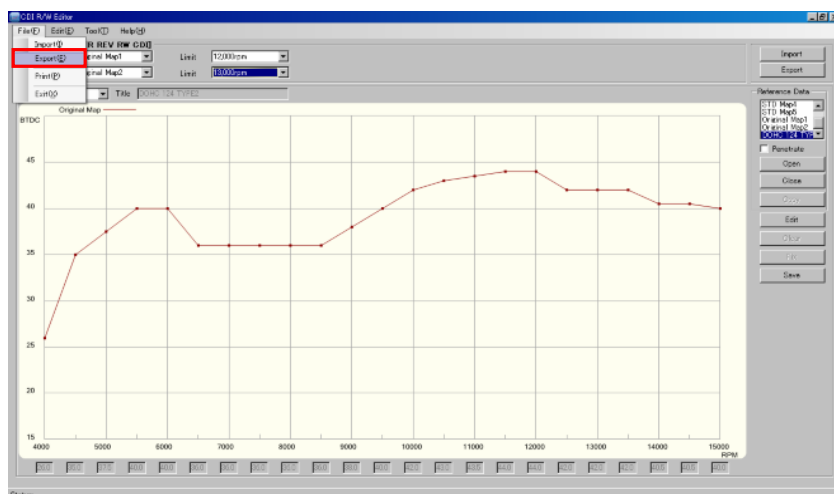
4 削除する場合はCloseボタンを押す。(参照データボックス内から削除します)

5 Fixで編集モードの終了。

3 不要になったRrference Data(参照データ)ボックス内の参照データは、Close(クローズ)ボタンで、ファイルから表示したオリジナルマップデータを、Rrference Data(参照データ)ボックスから削除できます。

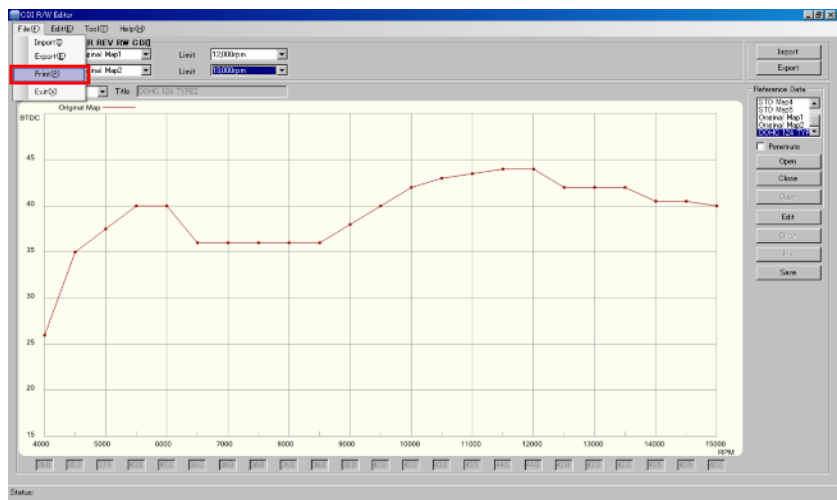
データエクスポート(CDIにデータを上書きします)

メニューバーのFile(ファイル)→Export(エクスポート),又は画面右上のExport(エクスポート)ボタンよりデータのエクスポートを行います。(必ずCDIを接続してから行ってください)
(エクスポート処理を行わない場合、CDI側の点火テーブルデータは変更されません。)

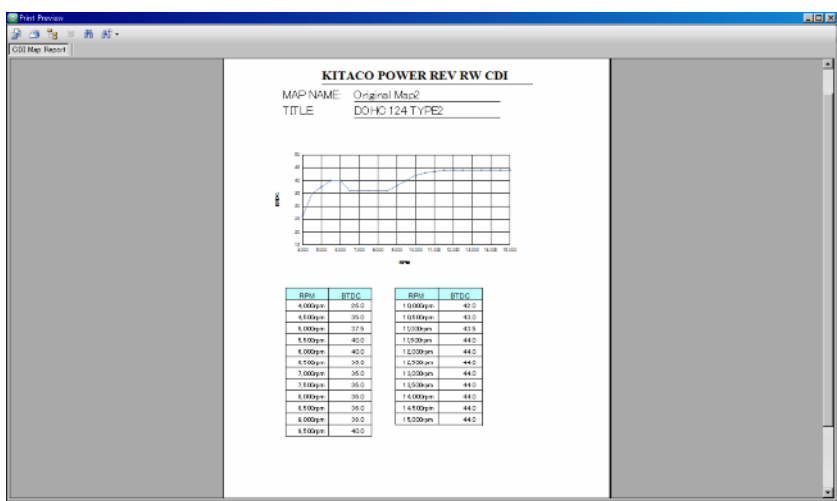


印刷(プリンターで印刷します)

メニューバーのFile(ファイル)→Print(プリント)からグラフ及び、数値データの印刷が可能です。



印刷プレビュー

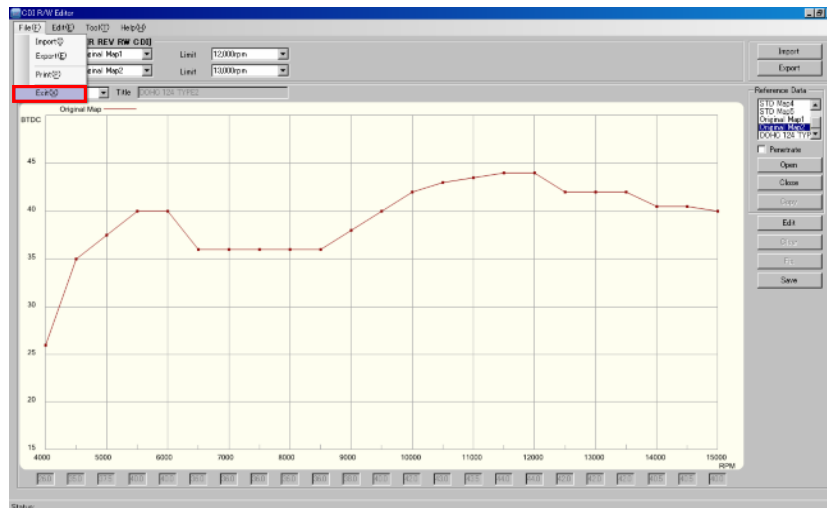


プリンターの設定を行い印刷します。

終了(CDI Editorを終了します)

ファイル→ExitでCDI Editorを終了します。

一旦終了すると、パソコン上で編集していたデータは全て失われます、必ずエクスポート処理を行っておいてください。
(ファイルに保存してあるデータは削除されません。)





CDI Editor Help

CONTENTS

DISPLAY DETAILS

INITIAL SET UP

DATA IMPORT

EDIT TEAM NAME

IGNITION MAP SETTING

MAKING MAP

EDITING MAP

PENETRATE MAP DISPLAY

MAP COPY

SAVING MAP

OPENING A MAP FROM FILE

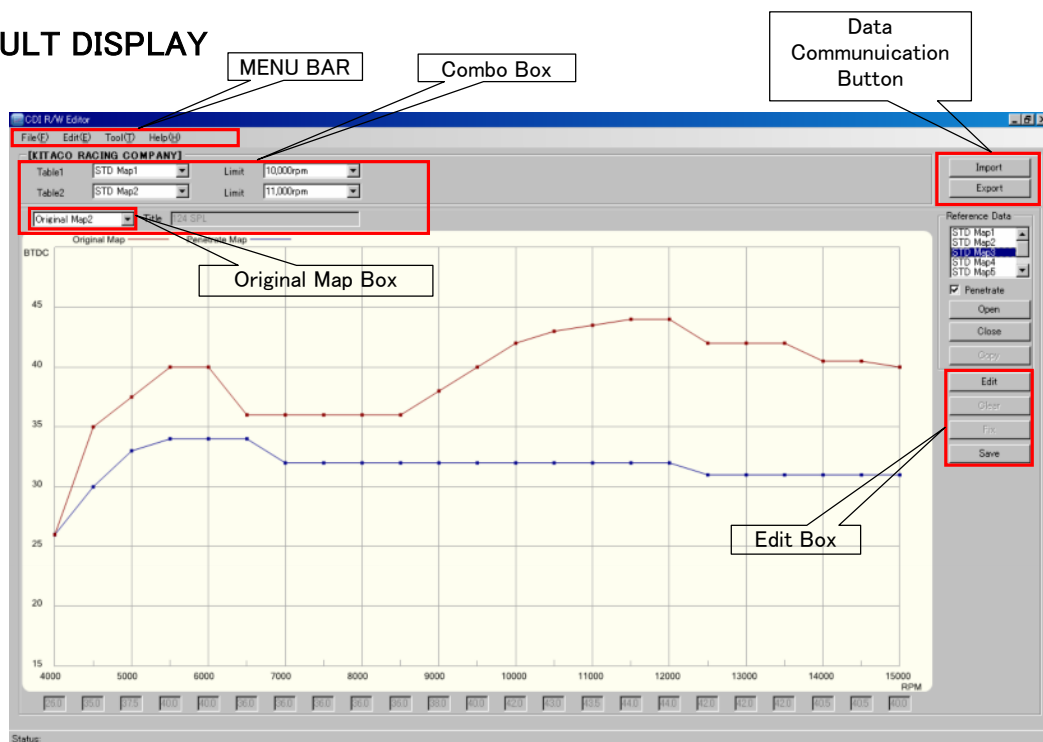
DATA EXPORT

PRINTING

EXIT

CDI Editor DISPLAY (MANUAL OPERATION BUTTON)

DEFAULT DISPLAY



MENU BAR

File

- Import : Read CDI data into PC.
- Export : Write PC data on CDI.
- Print : Print graph and numeric data of original map you are using.
- Exit : Exit CDI Editor.

Edit

- Team name : Edit Team Name (up to 30 English one-byte characters can be entered)

Tool

- Serial Port : Choose "Com Port" that connects CDI and PC.
(Refer to device manager in detail)

Help

- Help : Show operation manual in PDF.
- Version : Show CDI Editor version.

Combo box

- Table : Select type and rev limit of ignition map that can be output from CDI data.

Table 1 : When body harness / table switch lead wire is disconnected

Table 2 : When body harness / table switch lead wire is connected

Original Map Box

Original Map Box : Store up to 3 types of ignition map that you make and use later.

Title : Name of the map. Useable when saving map data in PC.
(Up to 15 English one-byte characters can be entered).

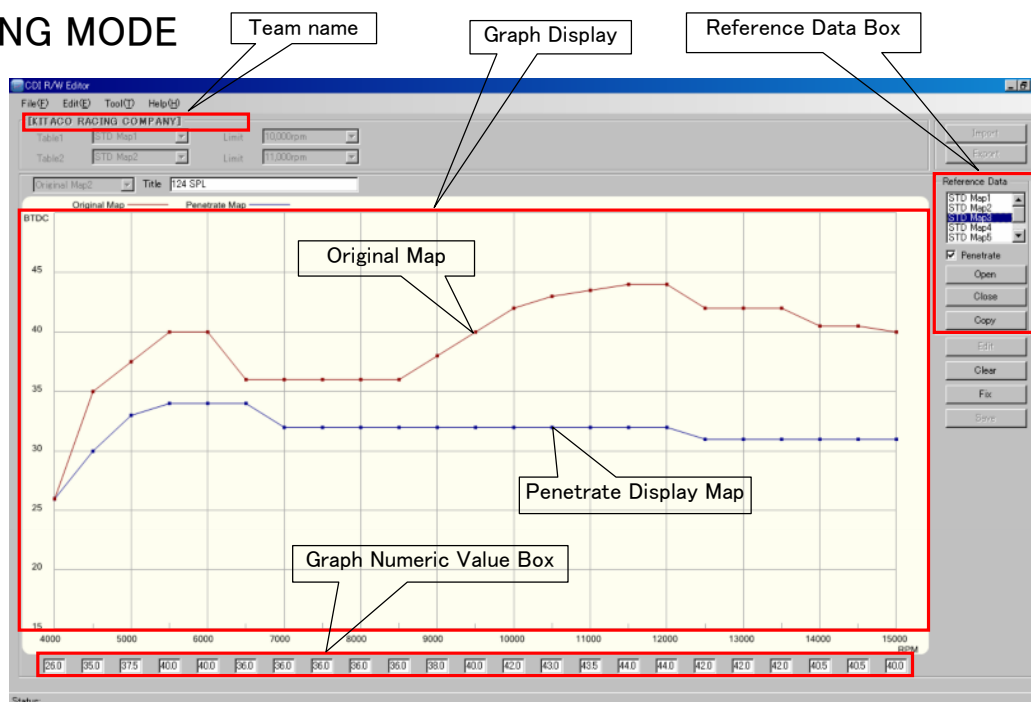
Data Communication Button

- Import : Read CDI data.
- Export : Write PC data on CDI.

Edit Box

- Edit : Enter to edit mode.
- Edit map (selectable when default mode).
- Fix : Finish the edit mode and go back to default mode. (selectable when editing)
- Clear : Delete map data you are editing. (selectable when editing)
- Save : Save the original map you are selecting in original map box as saved file in PC.
(selectable when default mode.)

EDITING MODE



Team name : "Edit" in "File Menu" → Display and edit "Team Name".
(Up to 30 English one-byte characters can be entered)

Reference Data Box

Penetrate : 5 kinds of STD map (the maps that have been installed originally, original map that has data (up to 3 maps), saved files in PC can be displayed as penetrate display map.

Open : Saved file that has been stored in files in PC is displayed in "Reference Data" box.

Close : Saved data in "Reference Data" you are selecting is deleted out of "Reference Data"

Copy : Map data you choose in "Reference Data", is copied on original map.

(Original map data and map title are overwritten and existing data is deleted)

Original Map

Display map data in original map box in "Combo Box" and original map you are editing as graph data.

Penetrate Display Map

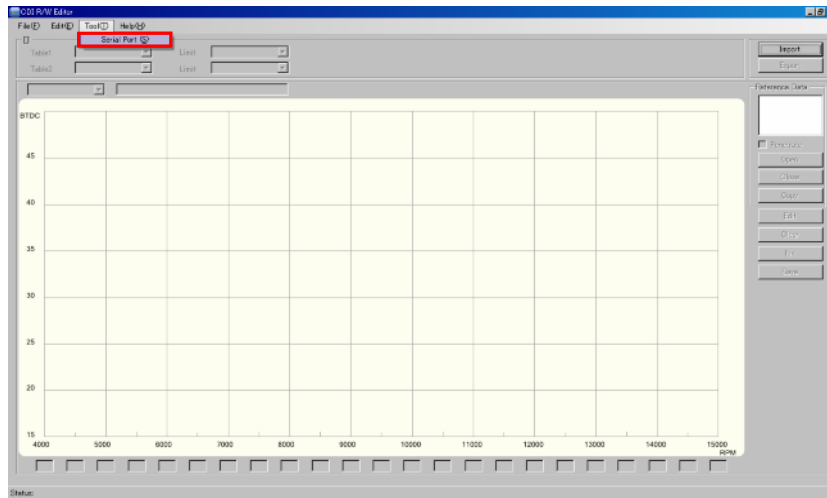
Graph display that is selected in "Reference Data", when check box is on.

Graph Numeric Value Box

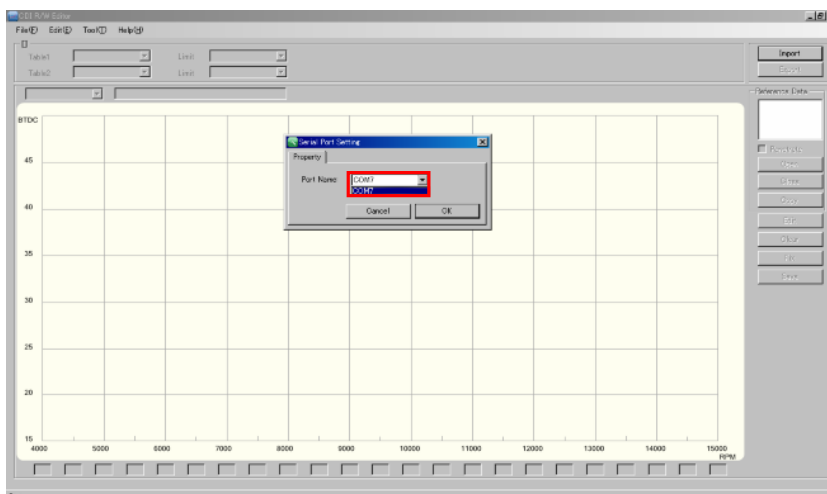
Display numeric data of the map selected in original map box in "Combo Box".

INITIAL SET UP (COMMUNICATION PORT SET UP)

- 1 Connect CDI unit and PC with dedicated cable, boot CDI Editor.
Press "Tool" in menu bar → "Com Port" in "Serial Port".
Not useable, if your PC does not have necessary equipment like USB port.



- 2 Select "Port" and press "OK."

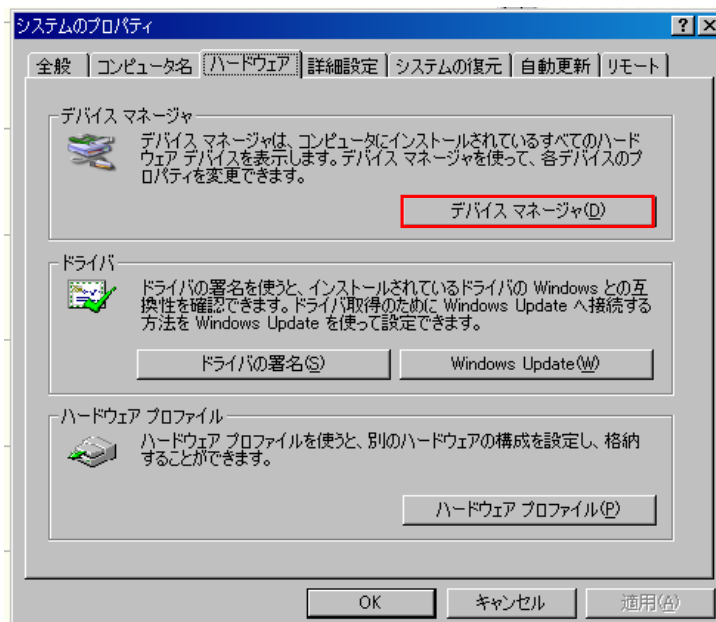


Network transmission setting is completed.
Resetting might be required when PC environment is changed.
Reset, if necessary.

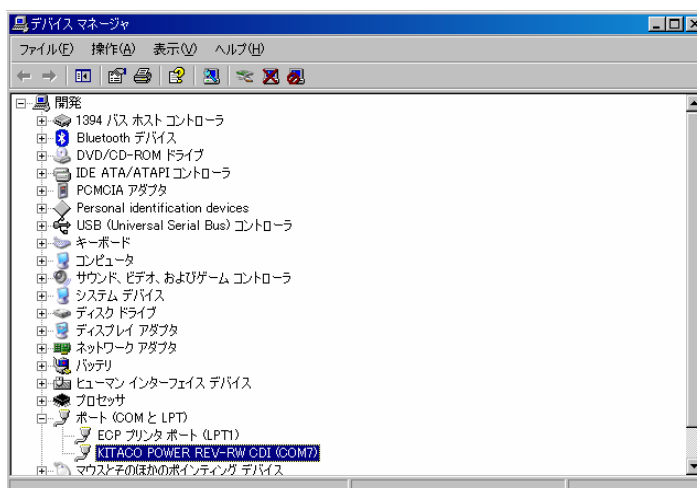
If what comport you must select is not clear, being too many comport choices, check MY COMPUTER → SYSTEM PROPERTY → HARDWARE → DEVICE MANAGER → PORT



Open MY COMPUTER and choose HARDWARE.



Choose "DEVICE MANAGER"



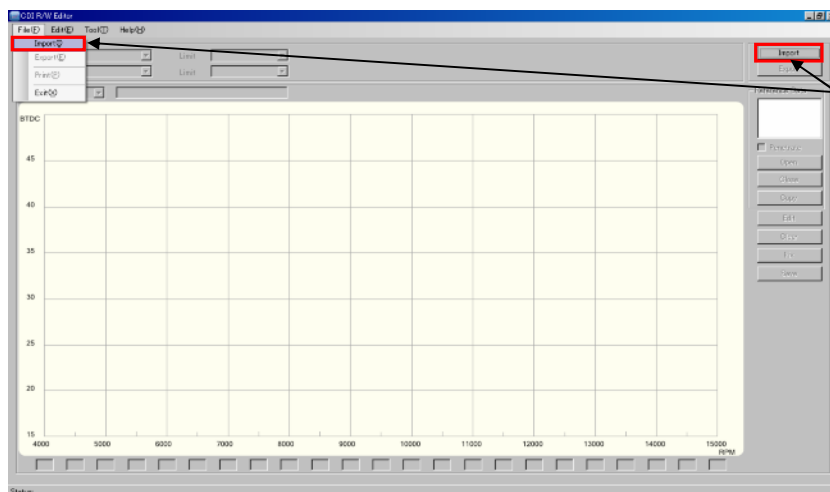
KITACO POWER REV-RW CDI (COM7) is displayed in PORT. Choose COM7 in the case. (It is different, depending on PC environment)

Close the DEVICE MANAGER window, after you check "PORT"...

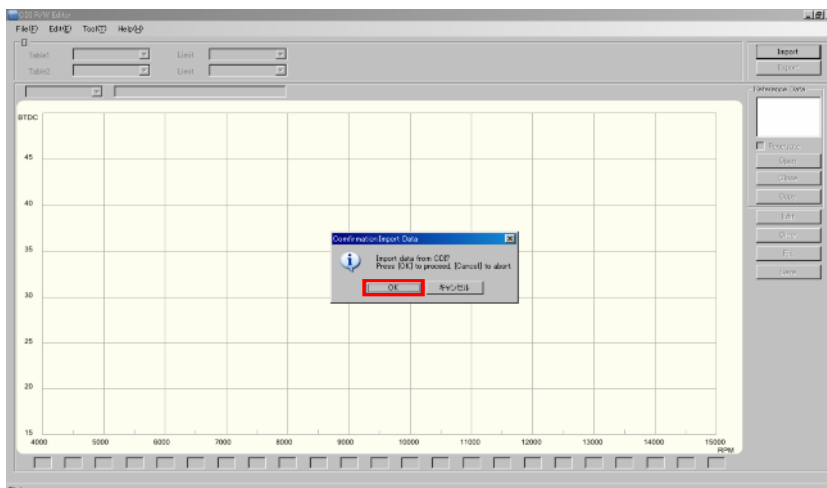
Setting is completed.

DATA IMPORT (Extracting the ignition information out of CDI)

- 1 Import CDI data from the "Import" button in the right or "File" in menu bar → Import.
(Editing operation is not possible without CDI DATA IMPORT)



With either import button, you can import data.

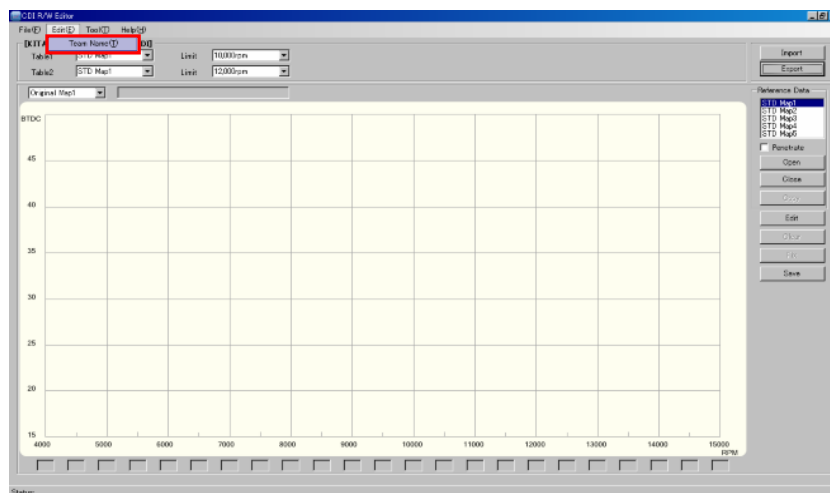
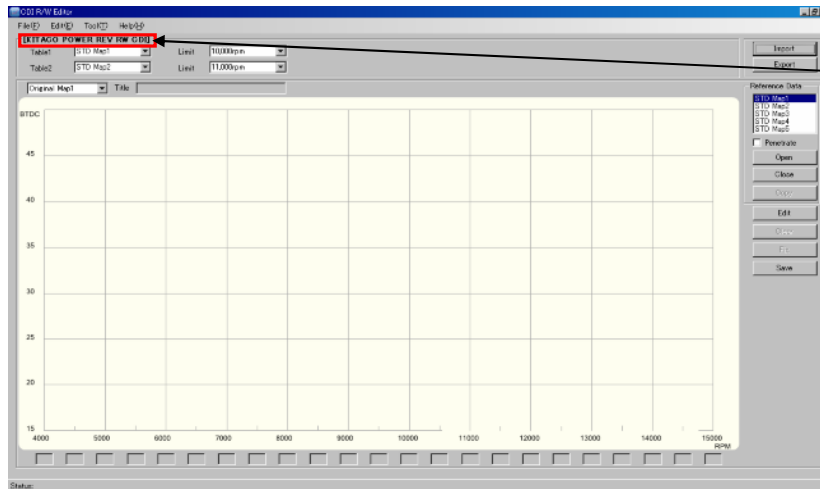


Confirmation message is shown. If OK, press "OK".

Communication error occurs, depending on comport setting and hardware.
Check port setting or communication cable condition, again.

EDITING TEAM NAME

1 Edit team name with "Edit" in Menu Bar → "Team Name"



Up to 30 English one-byte characters can be entered.

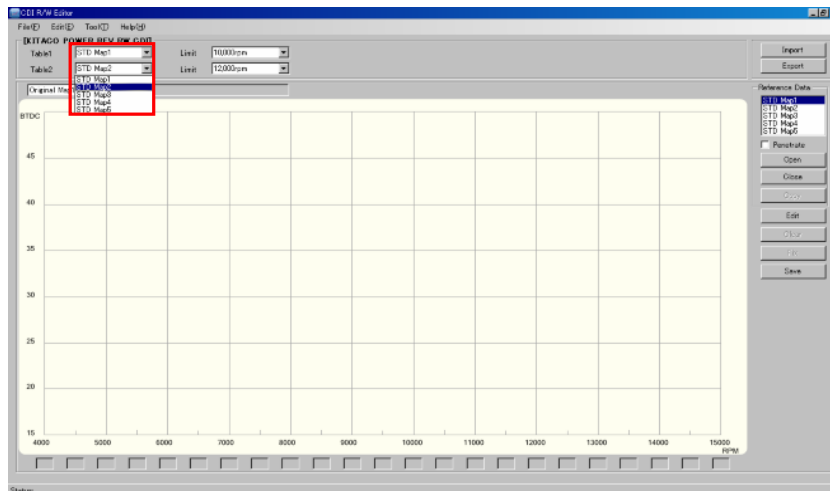
IGNITION MAP SETTING

(CHOOSE IGNITION MAP & LIMITER YOU USE)

- 1 Choose 2 types of ignition map you use ("Table 1" & "Table 2")

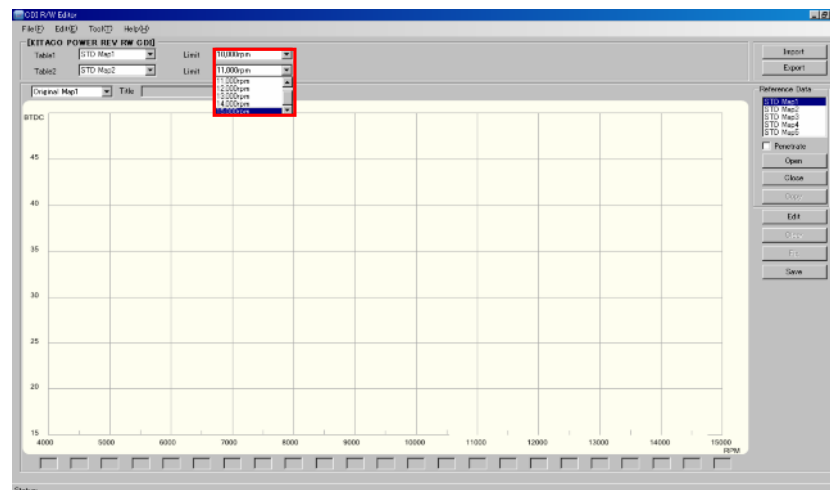
Press each table box and choose each setting.

Choose from 8 different types which are Original (that has data), MAP1~5 and MAP1~3.

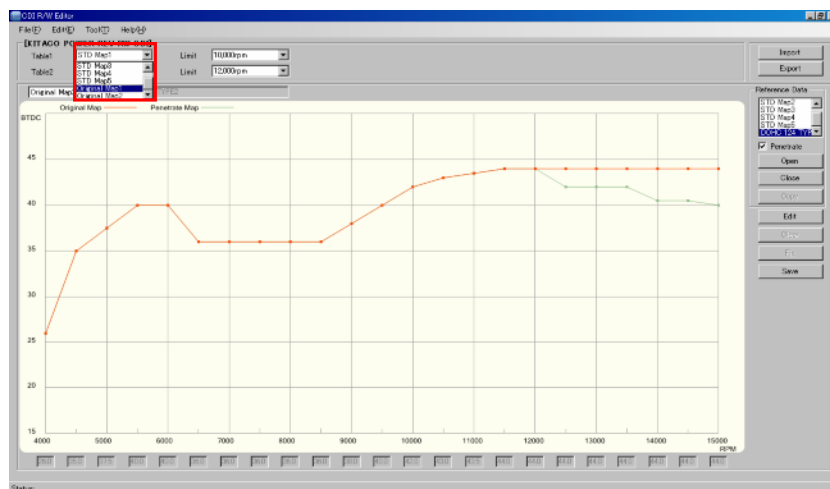


- 2 Press "Limiter" and choose rev limiter as well.

Rev limiter range is from 10,000 rpm to 15,000 rpm at intervals of 1,000 rpm.

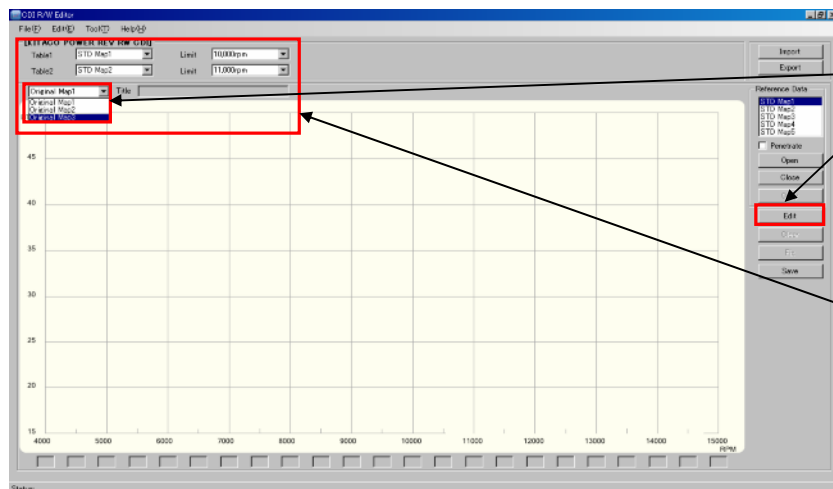


- 3 If there is data on original map, it can be chosen.



MAKING MAP

1 Choose original map that you make or edit in combo box, press "Edit" in the right side.

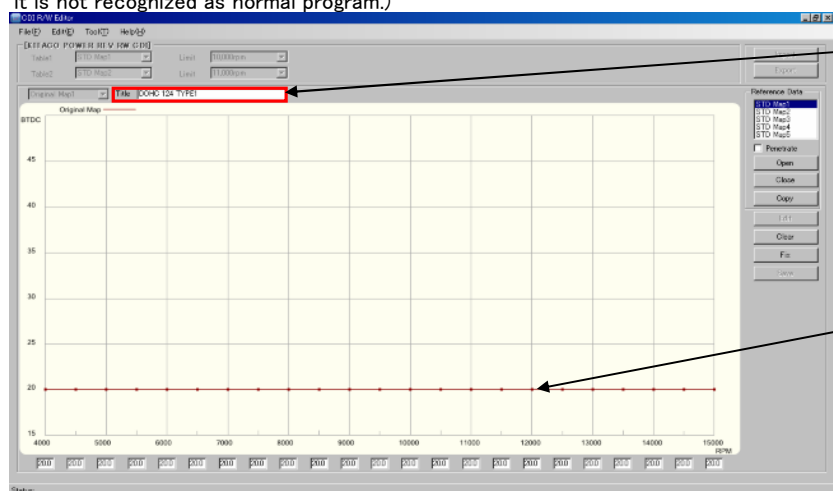


1 Choose original map you make.

2 Press "Edit".

Combo box

2 Input title in the "Title" box. (Up to 15 English one byte characters can be entered.)
(If non English-one-byte characters are input, data export can not be operated because it is not recognized as normal program.)



3 Input Map title.

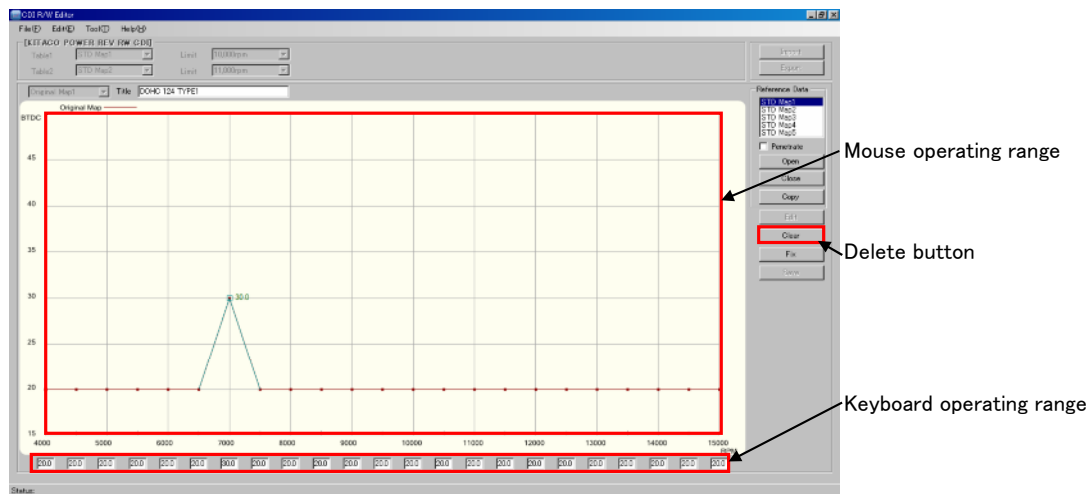
Press "Enter" or graph display after title input.

Initial Graph

(When initial setting or data is deleted, if title is input, map returns to default.)

EDITING MAP

- 1 Edit graph, by dragging and dropping with mouse pointer or with keyboard.
(Input unit is 0.5°C, it moves to next rev range by pressing "Enter".)



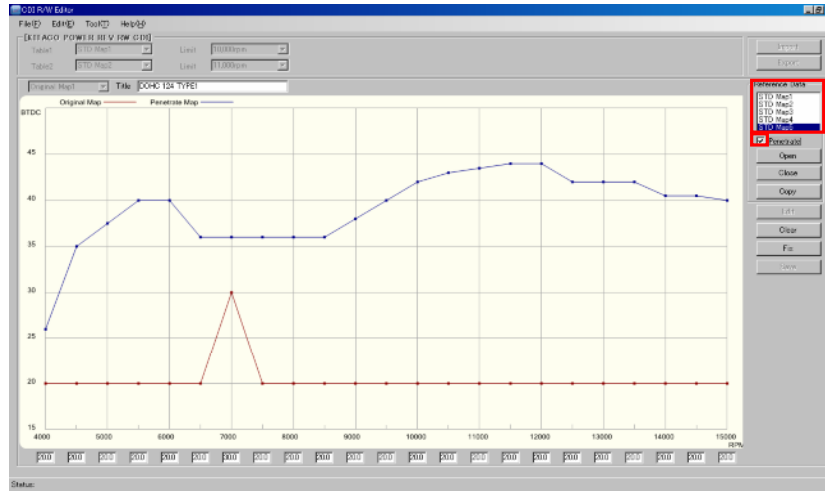
- 2 Ignition timing input value can be edited within $\pm 10^\circ$ from original value.
(Minimum unit of input value depends on the models. Make sure of the individual models)
- 3 Press "Fix", when finishing editing.

DELETE

- 1 If you would like to delete a map, press "Clear".
After deleting and remake a map, start with inputting map title.
If original map is chosen in "Table", deleting is not possible.
Choose other map first and delete it.

PENETRATE DISPLAY

1 5 kinds of STD map and original map that has data when import are displayed in "Reference Data"

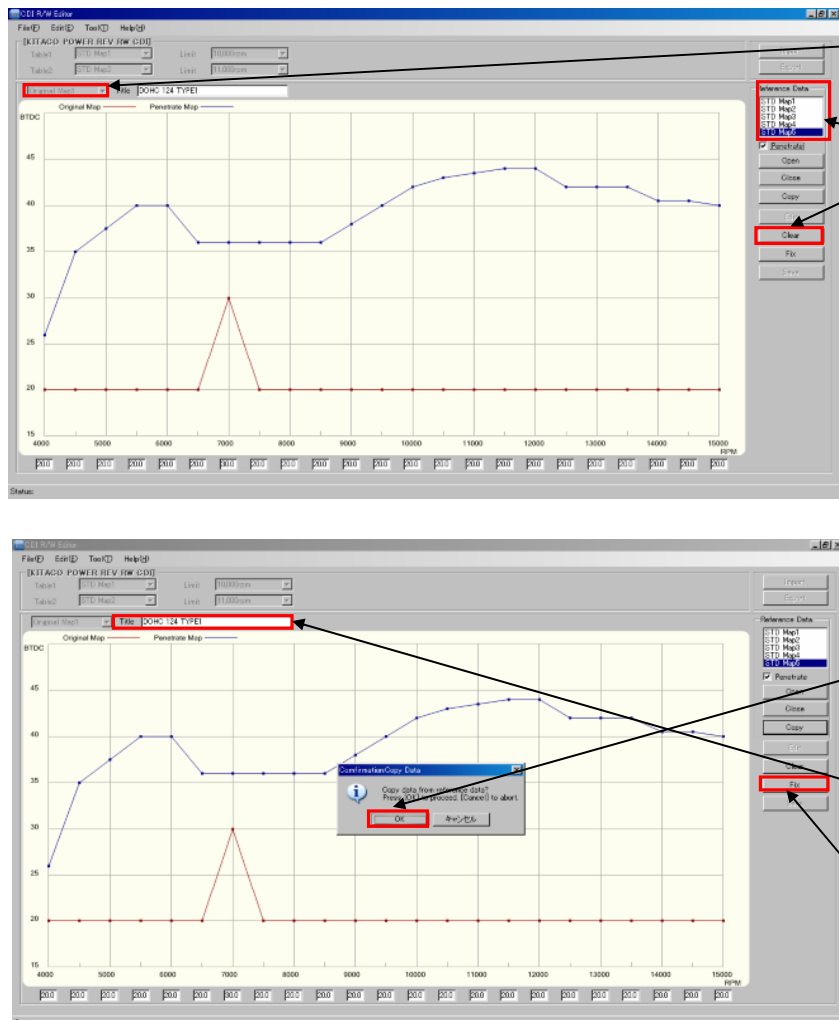


1 Choose the data to refer and check the "Penetrate" box.

MAP COPY

- 1 During editing, if you choose certain data in "Reference Data" and press "Copy", the graph can be copied in editing original map.

If title is not input before making copy, default title name is displayed.
Edit if necessary.



1 Choose original map you edit.

2 Choose reference data.

3 Press "Copy" button.

4 Confirmation message is displayed. If OK, press "OK".

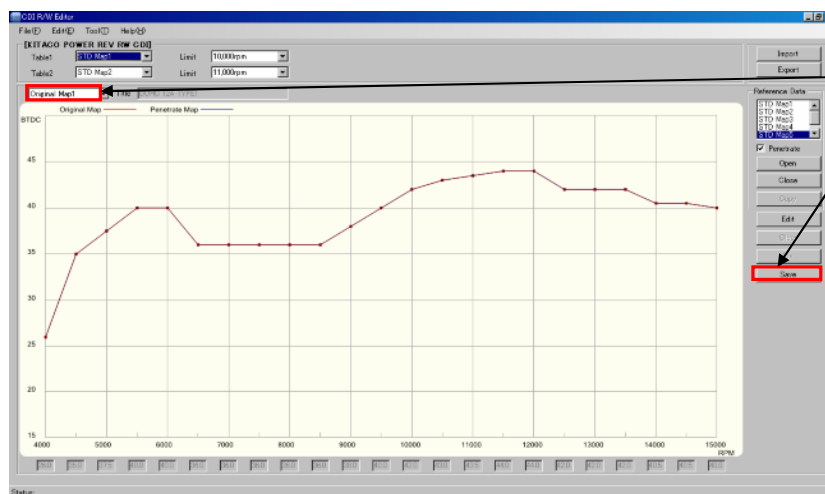
5 Edit title (when default and unedited)

6 Press "Fix" to finish editing mode.

- 2 If you would like to make similar ignition map, display the file data in "Reference Data" box.
Make copy and edit to make and edit similar map easily.
(Refer to "OPEN MAP FROM FILE")

SAVING MAP (SAVE MAP IN PC FILE)

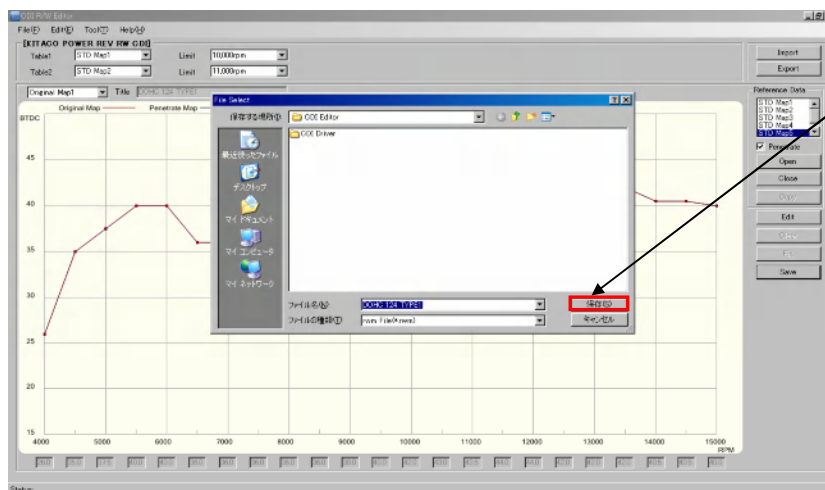
- 1 At this time, the map you edited is saved in each original map in "Combo Box".
Choose original map you would like to save and press "Save".



- 1 Choose original map to be saved

- 2 Press "Save"

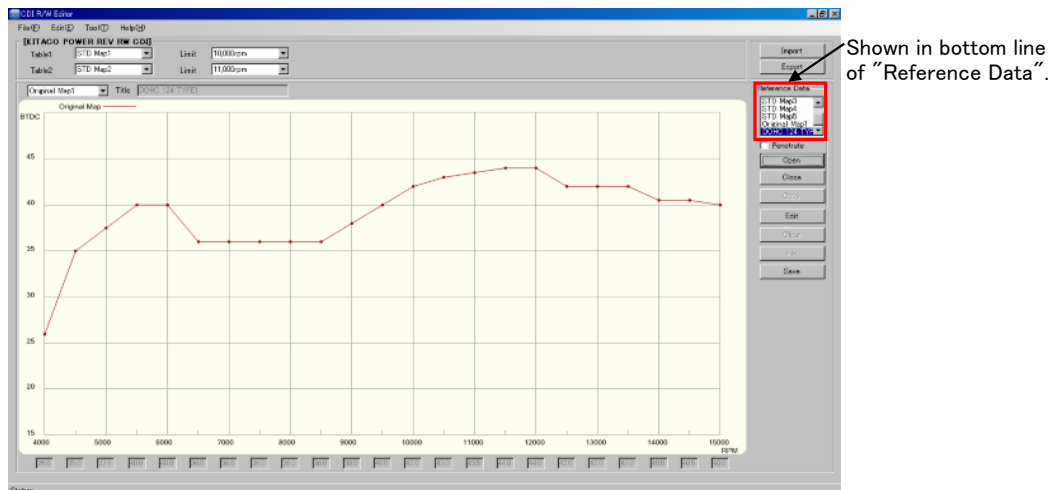
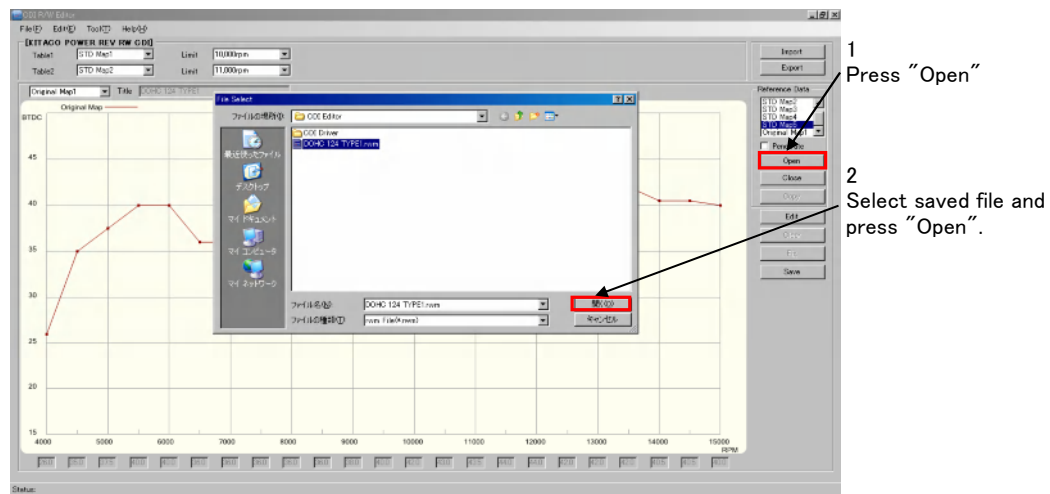
- 2 Save the file to select a destination of the file. (Default name is map title)
(File format is rwm)



- 1 Select the destination and file name and press "Save".

OPEN MAP FROM FILE (DISPLAY IN REFERENCE BOX)

1 Display original data saved before in bottom line of "Reference Data" by pressing "Open".



2 If file data is displayed in "Reference Data" and make copy, it can be used as original map data.

1 Select original map to copy, press "Edit"

2 Press "Copy" (Select original map to copy and press "OK")

3 Edit map title.

4 To delete, press "Close". (Data is deleted from "Reference Data")

5 Press "Fix" to finish editing.

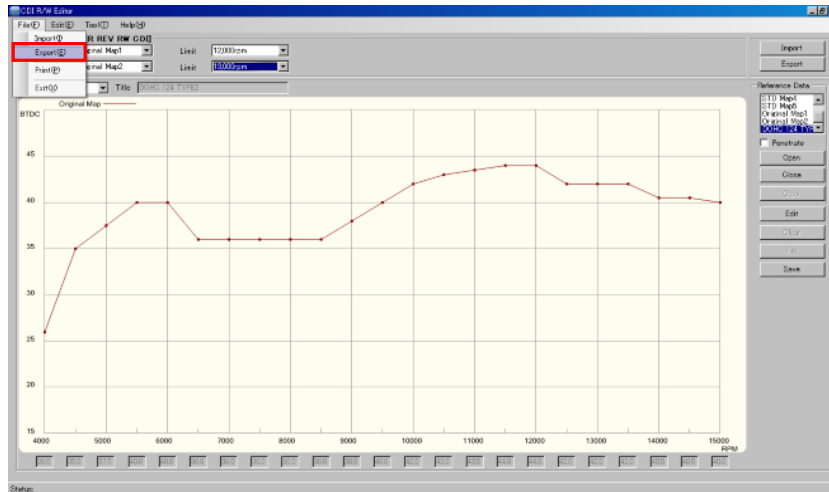
3 Unnecessary reference data in "Reference Data" can be deleted by pressing "Close".

DATA EXPORT (OVERWRITE DATA ON CDI)

Export data from "File" in menu bar → Export, or "Export" button in the right side.

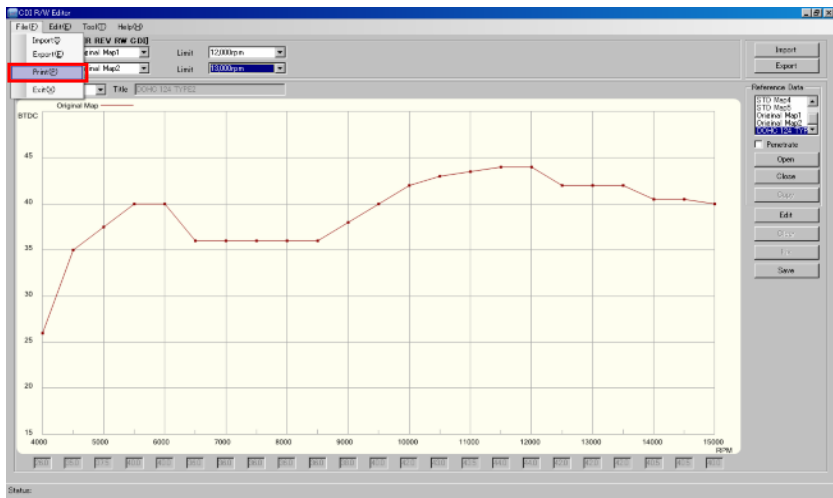
(Make sure that CDI is connected)

(CDI ignition table data is not transferred without data export)

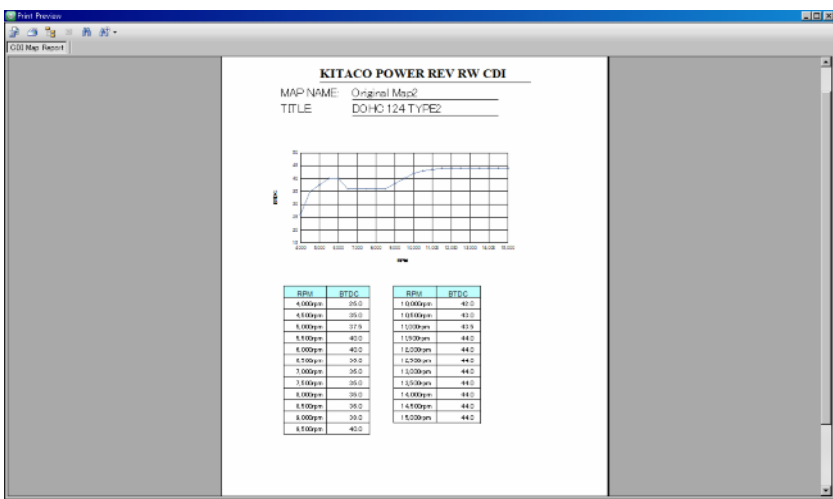


PRINTING (ON A PRINTER)

Print the graph and numeric data from "File" in menu bar → "Print"



Print preview



Set a printer and print.

EXIT (Exit CDI EDITOR)

Exit CDI Editor with "File" → "Exit".

Once exited, all the data edited will be deleted.

Make sure to export data before you exit.

(Data in PC File is not deleted.)

